

## 16. 西部沿岸 サンドリサイクル事業の実績

### 【近年の土砂管理状況について】

鳥取県西部沿岸における、近年の土砂移動について以下に整理する。(図 16.2 図 16.3 参照)

- ・ 西部沿岸における平成 13 年から平成 29 年の土砂移動の実績量をみると、合計で約 86.0 万 m<sup>3</sup> の土砂移動が実施されている。
- ・ 実施主体別にみると、国土交通省日野川河川事務所が約 51.0 万 m<sup>3</sup>，鳥取県が約 17.8 万 m<sup>3</sup>，米子市（皆生漁港）が約 17.2 万 m<sup>3</sup> となっている。
- ・ 実施内容別で移動量が多い順番にみると、サンドリサイクル・サンドバイパスが約 51.9 万 m<sup>3</sup> と多く、次いで航路浚渫が約 20.8 万 m<sup>3</sup>，河口浚渫が 13.3 万 m<sup>3</sup>，となっている。
- ・ 米子市管理の皆生漁港については、平成 23 年度の西防波堤を整備後、航路及び泊地浚渫を平成 25 年 6 月に実施したが、同年の風浪によって土砂が堆積し、平成 27、28、29 年度に堆積土砂の撤去を再度行ったところである。30 年についても、維持浚渫を実施する予定としている。
- ・ 平成 25 年 10 月に発生した、台風 26 号等の影響により直轄海岸の浜崖が発生し、日野川河口等より平成 25 年、26 年に緊急養浜を実施している。27 年度以降は、土砂移動量を減らして実施している。

※境港公共マリーナ堆積土砂については、航路確保のため、境港管理組合による浚渫が例年実施されている。

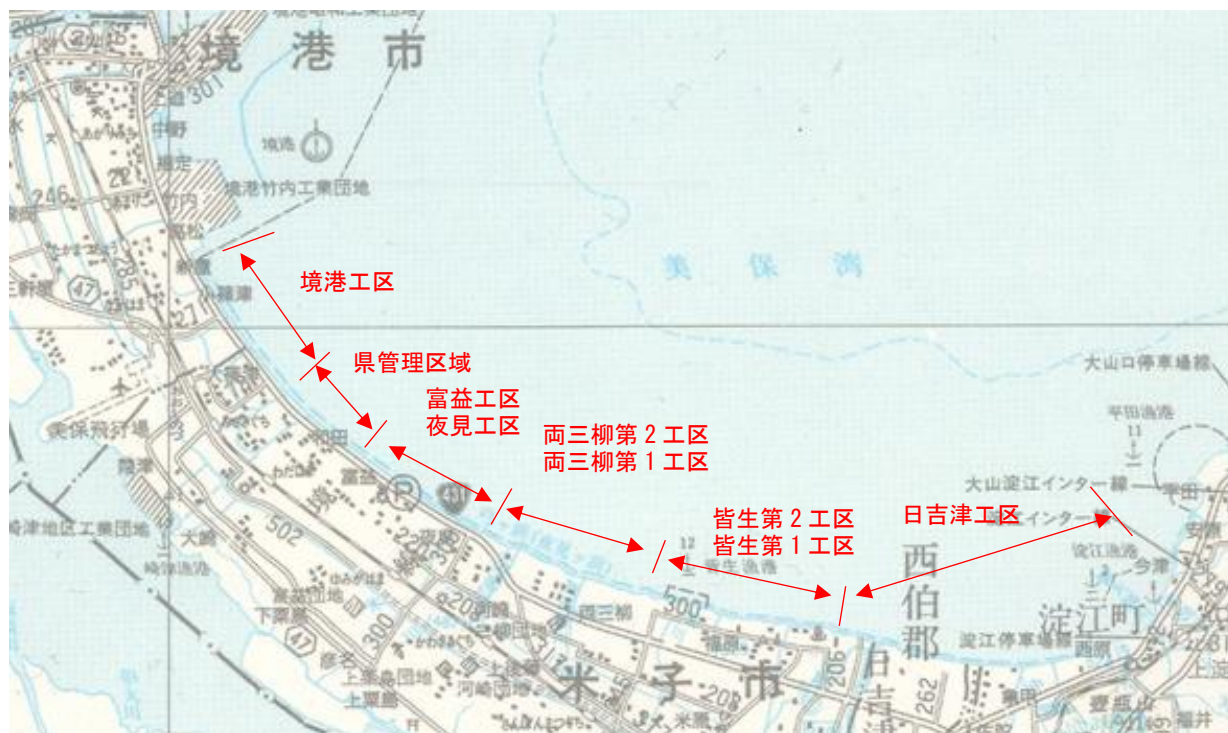


図 16.1 鳥取県西部沿岸 工区割平面図

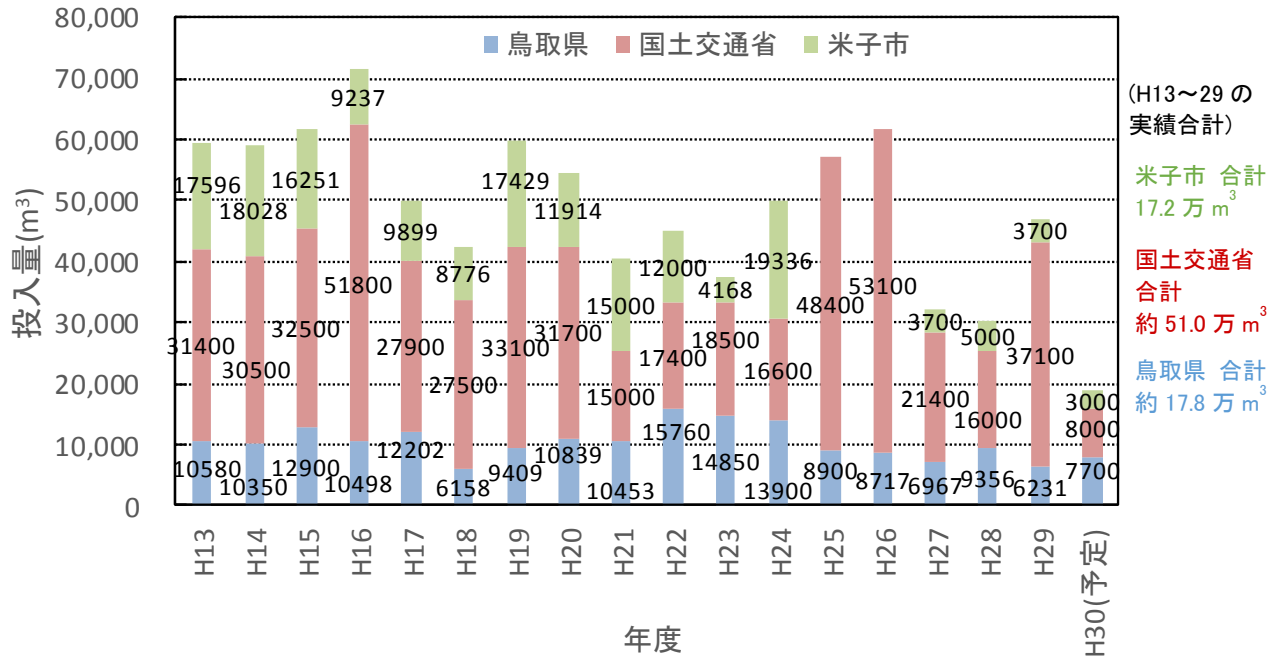


図 16.2 土砂移動量の経年変化（実施主体別）

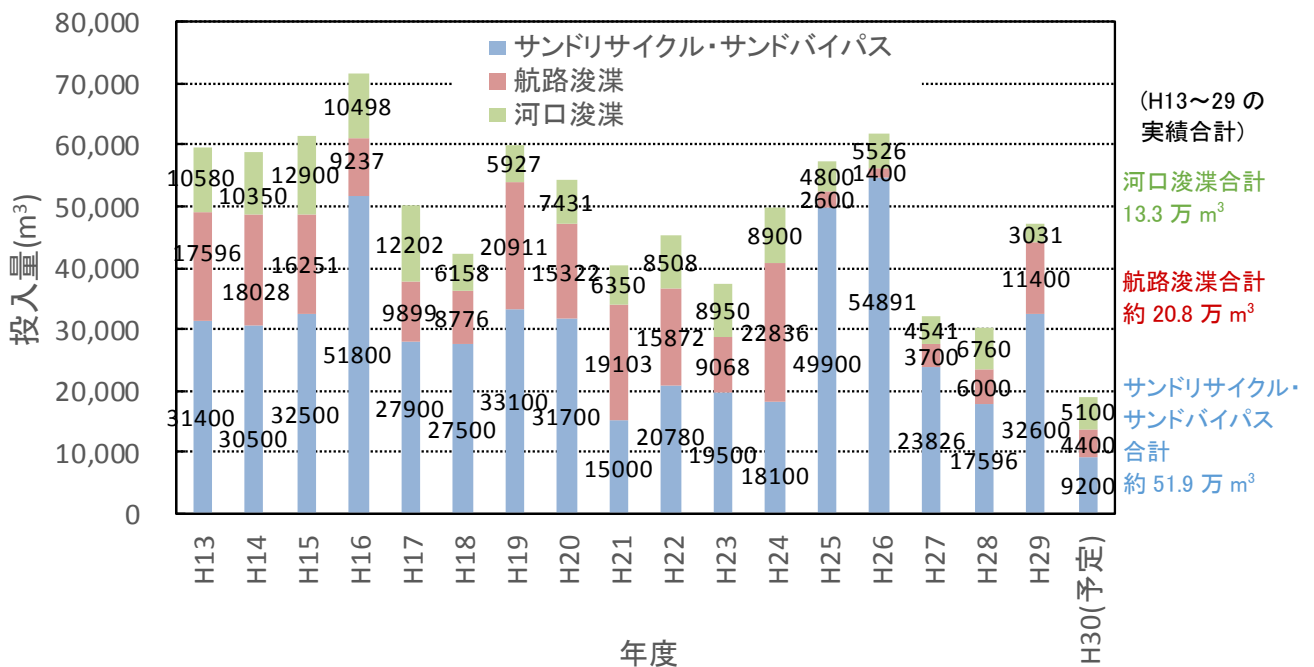


図 16.3 土砂移動量の経年変化（実施内容別）

※参考に、サンドリサイクル実績を写真図に示す。

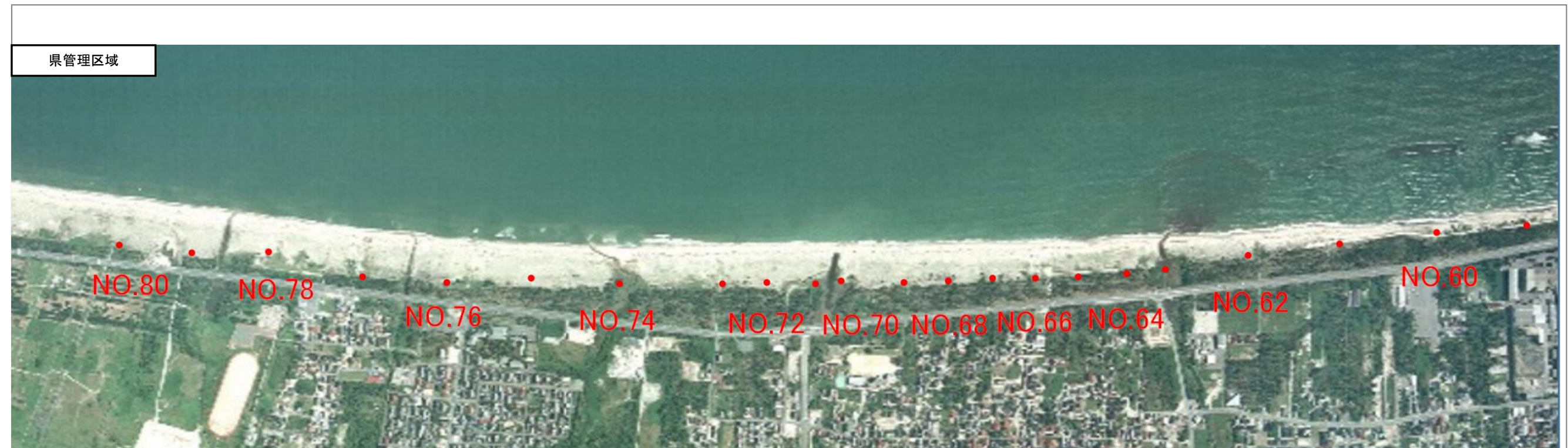
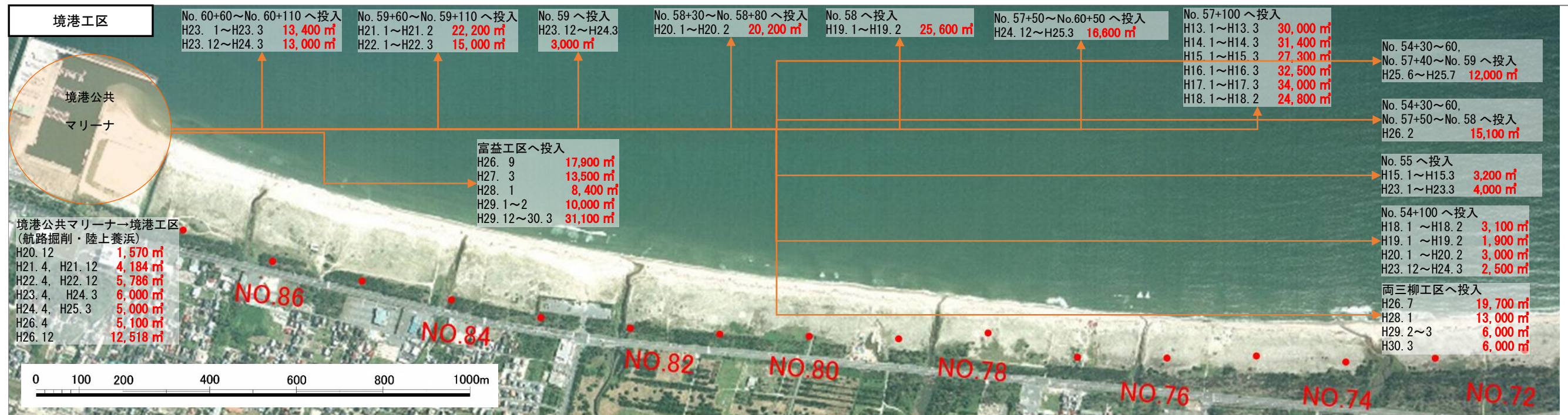


図 16.4 鳥取県西部沿岸の土砂管理状況(1)

※参考に、サンドリサイクル実績を写真図に示す。

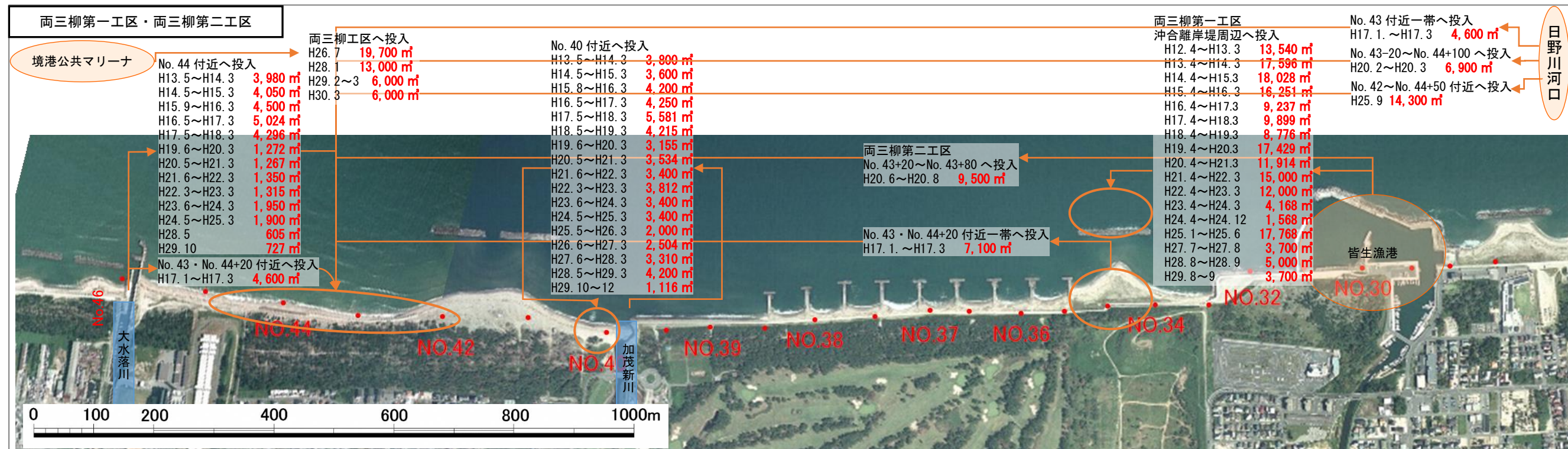


図 16.4 鳥取県西部沿岸の土砂管理状況(2)

※参考に、サンドリサイクル実績を写真図に示す。

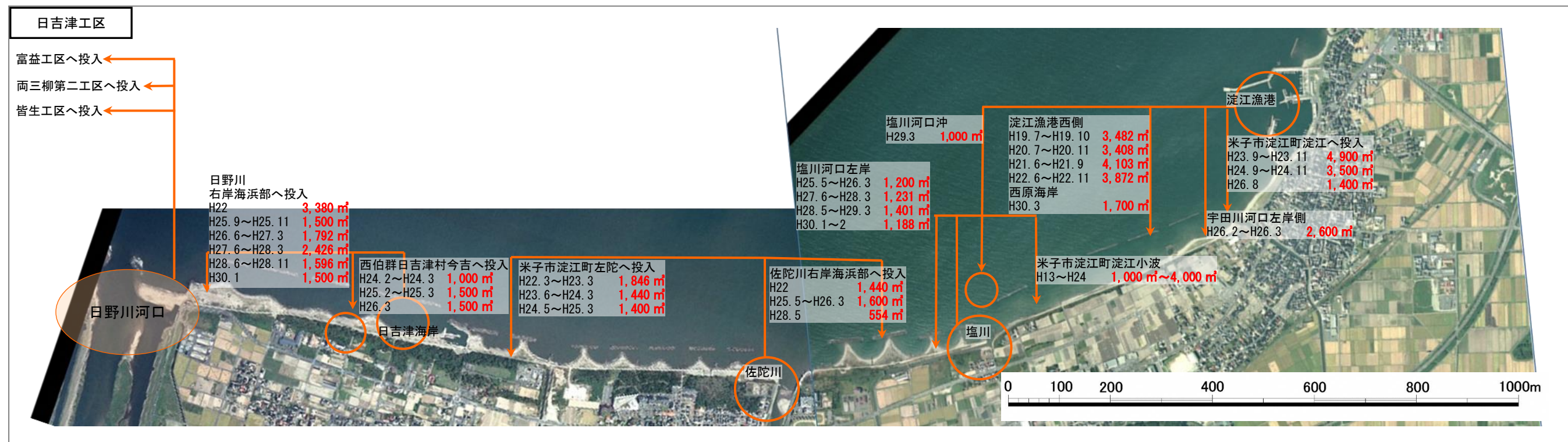
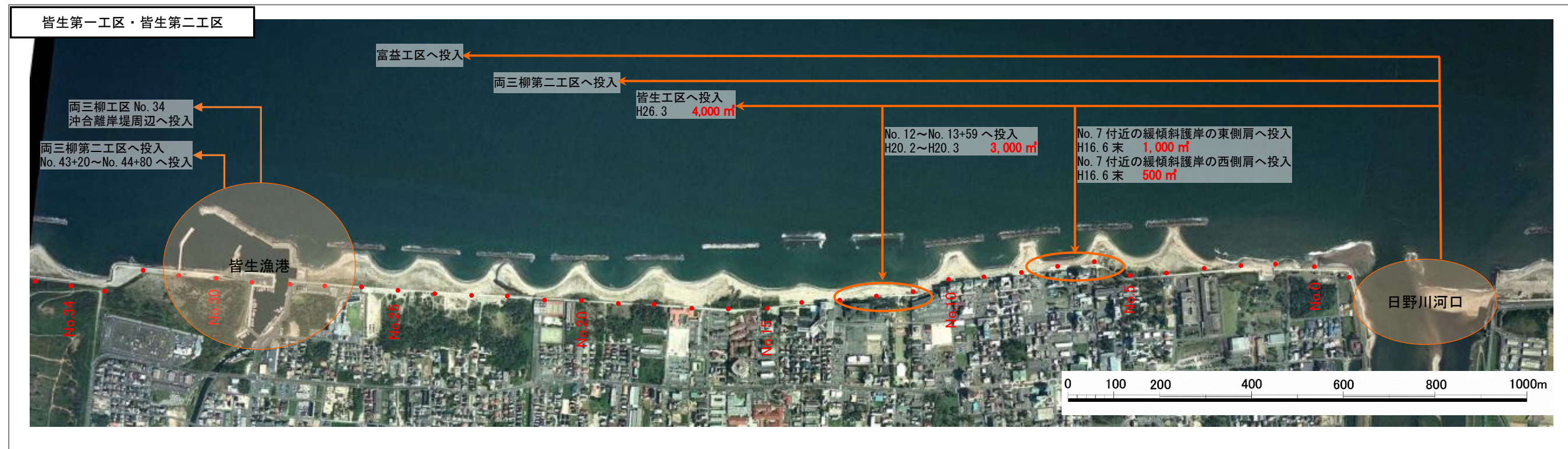


図 16.4 鳥取県西部沿岸の土砂管理状況(3)

※参考に、サンドリサイクル実績及び予定（採取・投入地点別の経年グラフ）を写真図に示す。

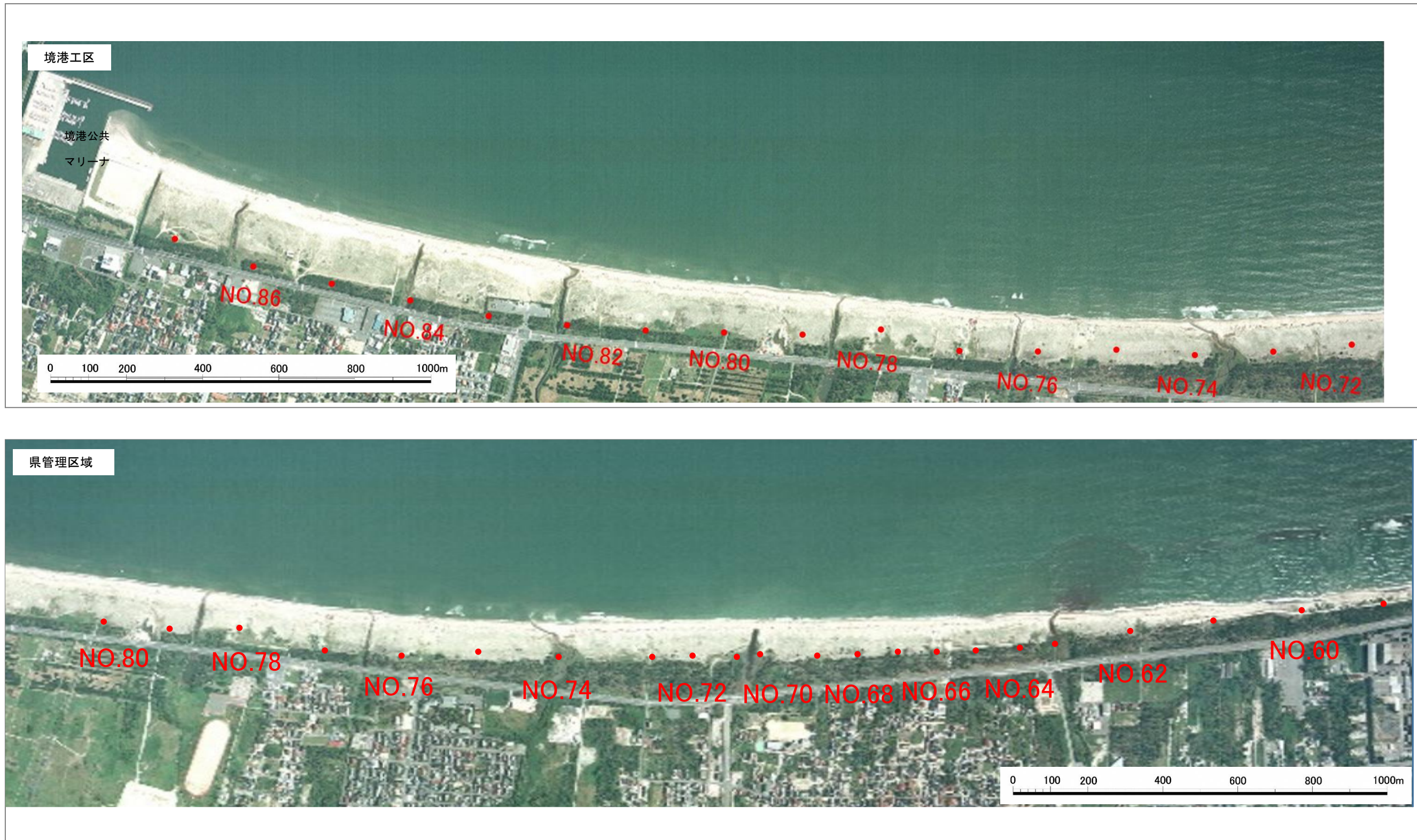


図 16.5 鳥取県西部沿岸の土砂管理状況(1)

※参考に、サンドリサイクル実績及び予定（採取・投入地点別の経年グラフ）を写真図に示す。

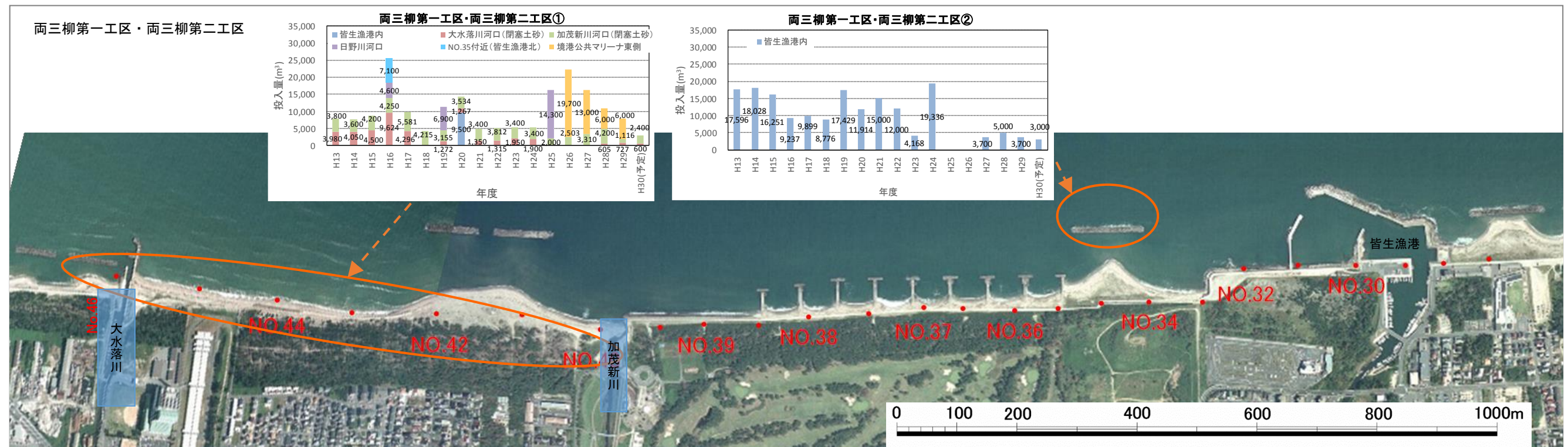
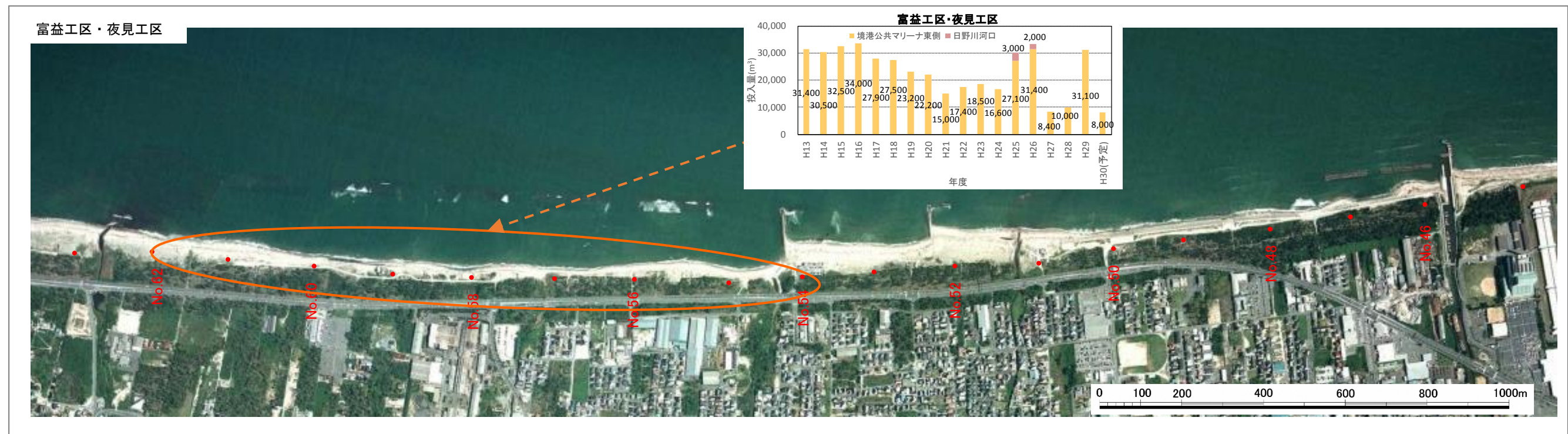


図 16.5 鳥取県西部沿岸の土砂管理状況(2)

※参考に、サンドリサイクル実績及び予定（採取・投入地点別の経年グラフ）を写真図に示す。

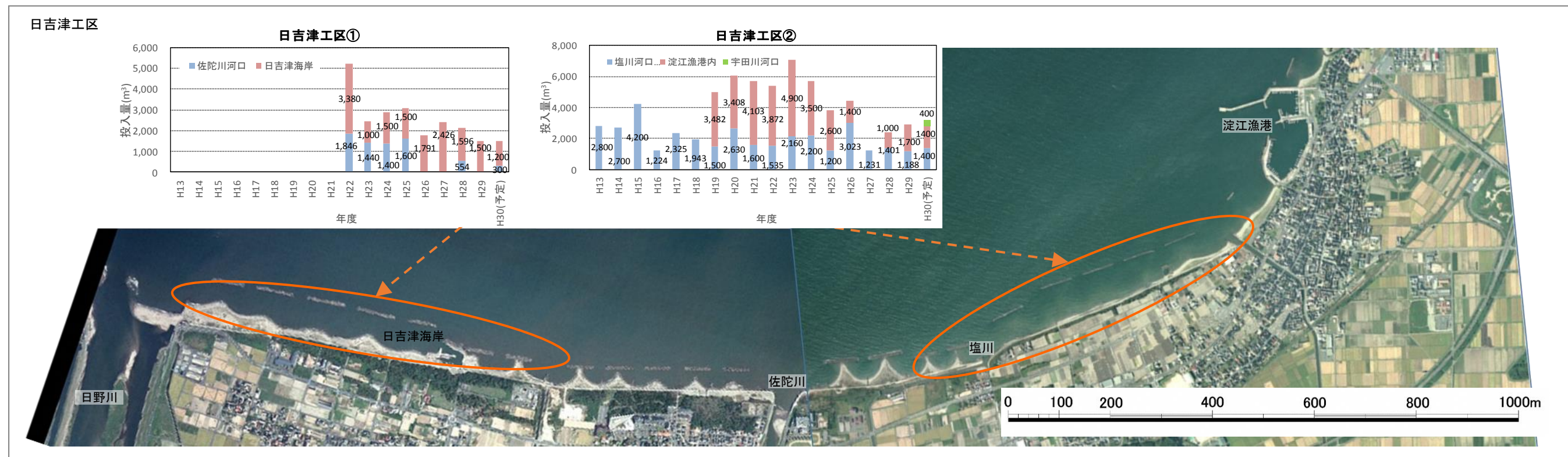
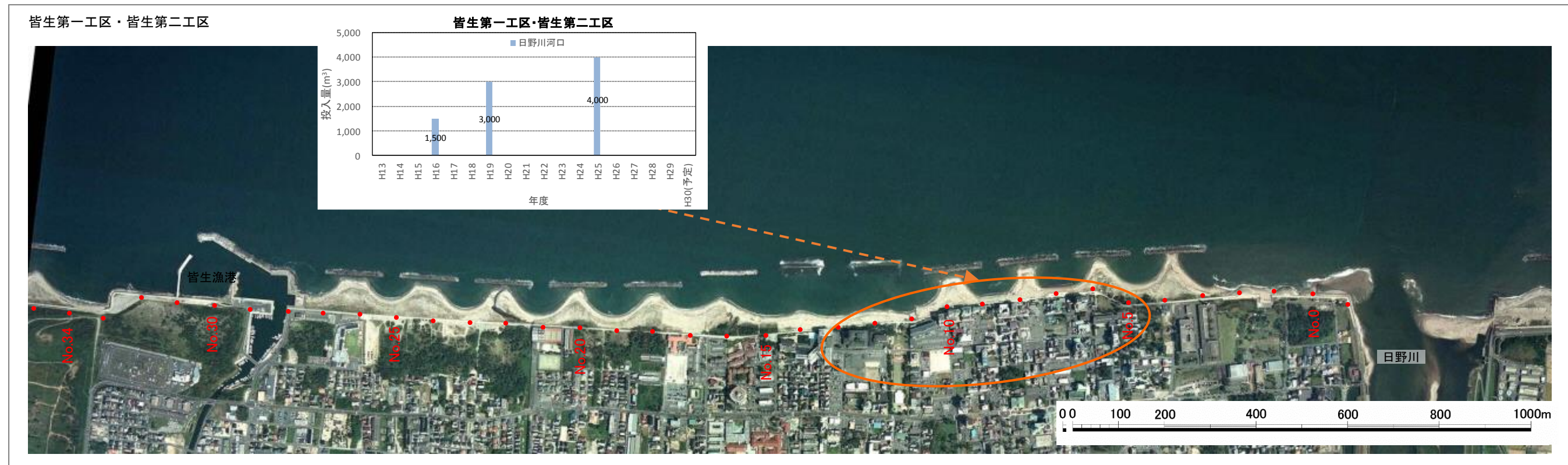


図 16.5 鳥取県西部沿岸の土砂管理状況(3)